

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。

関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓WBC Facebook はこちらから

<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>

■ □ ■ -----

3. ----- ■ □ ■

<横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後 3 年以上の事業計画があり、WBC を退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は 3 年以内となっています。

WBC に入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBC の会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBC の各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業の PR・お知らせ等でご利用いただけます。

↓WBC インキュベートオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベートオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp



4. ----- ■ □ ■

<WBC 事務局より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【～スリランカの蓮～】

関東近郊では蓮の花が咲き始め、横浜市の三溪園でもまもなく蓮の花の見頃を迎えます。

「蓮は泥より出でて泥に染まらず」と中国の古歌にもありますが、夏の朝、匂い立つように咲く蓮の花の愛好家は多いのではないのでしょうか。

蓮はスリランカの国花でもあります。スリランカはインドの南端に位置する島国で、面積も北海道の8割方の大きさであり、あまり馴染みのない方も多いと思います。しかし、この小さな国が、大戦後1951年のサンフランシスコ講和会議において日本にとって忘れてはならない「匂い立つ」ような貴重な役割を果たしたのです。このことは意外と知られていないようです。講話会議の席上、スリランカのジュニウス・R・ジャワルダナ蔵相（後の大統領）は、「憎しみは憎しみによって止むことは無く、愛によって止む」という仏陀の言葉を引用されて対日賠償請求権を放棄する演説を行い、日本が国際社会に復帰できる道筋を作ったといわれています。親日家の同氏の1996年の死去に際しては、遺言により「右目はスリランカ人に、左目は日本人に」角膜が送られたという感動的なエピソードも残っています。戦争という泥水の中に咲いた爽やかな蓮の印象と重なる出来事のように思われます。

こうした背景もあり、日本とスリランカの2国間関係は友好的で重要な貿易相手国と言えます。2013年の統計でスリランカから日本への輸出額は563億円（6位）、品目は紅茶（セイロンティーとして親しまれている）、衣類、魚介類、ゴム製品です。スリランカの日本からの輸入額は289.3億円（9位）、品目は自動車、一般機械、繊維用品、鉄鋼等です。一次産業への依存度は高いですが、ITやサービス産業の振興を志向しているとのこと。賃金水準については最大都市コロomboで、ジャカルタ（インドネシア）やホーチミン（ベトナム）とほぼ同水準といわれており、進出先としての労務コストは魅力的であります。電気通信のインフラについては1997年のスリランカテレコム为民営化によって電気通信分野の成長が加速され、電話網なども加速度的に増えたということです。またインドとも

地理的に近く、インド・スリランカ自由貿易協定（ISFTA）により、多くの品目において関税が免除され、インド・アフリカ・中東・アジアを見据えた貿易・物流拠点として重要度を増しております。

かつて、岩倉使節団や夏目漱石も帰途コロンボに立ち寄ったといわれています。長い交流で養われた泥中の地下茎の豊かさを信じて、スリランカとのビジネス交流において「匂い立つ」ような花の一輪も咲かせたいという企業家の方々の挑戦を待ちたいと思います。

（執筆：WBC 所長 前田）

■ □ ■ -----

5. ----- ■ □ ■

<横浜市より> ～セミナー開催のお知らせ～

【インドミッション事前セミナー第2回：モディ政権1年後のインド経済概況、進出日系企業動向とスズキ株式会社の事業展開～ 7/21】

平成27年は、横浜市とムンバイ市が姉妹都市を提携して50周年を迎え、秋には横浜市ムンバイ事務所も開設され、今後、両市の交流がますます強化されることが期待できます。この機をとらえ横浜商工会議所を中心に、横浜市など関係団体では11月15日～21日にかけて「ムンバイ」、「プネ」、「アーメダバード」の各都市を巡る「西インド経済・投資環境視察団」を派遣いたします。

これに先立ち、この度のセミナーでは、はじめに、日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部の古屋礼子氏よりインド経済の概況及び日系企業の動向、及び進出時における注意点等についてご講演いただきます。その後、いち早くインドに進出され事業を拡大し、今や自動車販売インドシェアNo1となられたスズキ株式会社の齊藤欽司氏からインドにおける事業展開についてご講演いただきます。

インドへの進出や事業展開を検討されている企業の方は、ぜひお気軽にセミナーをご聴講いただくとともに、視察団にご参加くださいますよう、ご案内いたします。

◆開催日時：平成27年7月21日（火）14:00～16:30（開場 13:30）

◆開催場所：横浜シンポジア 議場

（横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9階）

<http://www.yokohama-cci.or.jp/symposia/9f/>

◆参加費：無料・事前申込制

◆申込締切：平成27年7月17日（金）

◆定員：100名

◆内容：

・「インド経済概況と進出日系企業動向」

日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 古屋 礼子氏

・「スズキのインド事業について」

スズキ株式会社 四輪アジア・中南米営業本部本部長 齊藤 欽司氏

・西インド経済・投資環境視察団 募集のお知らせ ほか

◆主催：横浜市、横浜商工会議所、日本貿易振興機構（ジェトロ）横浜貿易情報センター、（一社）横浜インドセンター

◆後援：神奈川県産業労働局、（公財）横浜企業経営支援財団、（公財）神奈川産業振興センター、（公社）横浜貿易協会（予定）

<お問い合わせ>

（一社）横浜インドセンター

担当：渡辺、木口

TEL：045-222-7300

■ □ ■ -----

6. ----- ■ □ ■

<横浜市より> ～ミッション参加企業募集のお知らせ～

【バンコク都低炭素技術ミッションのご案内 7/13-15】

平素から横浜市 Y-PORT 事業の推進にご協力いただきありがとうございます。

横浜市はバンコク都との「日本国横浜市とタイ王国バンコク都との持続可能な都市発展に向けた技術協力に関する覚書」を締結しており、現在、JICAが進めるバンコク都の気候変動マスタープラン策定に協力しています。

この気候変動マスタープランの実施に資する具体的な低炭素プロジェクトの発掘を目的として、昨年度に引き続き、OECC（一般社団法人海外環境協力センター）が環境省委託事業「平成27年度アジアの低炭素社会実現のためのJCM大規模案件形成可能性調査」を実施しており、横浜市が協力してこの調査を進めております。

この調査では現地での低炭素技術ミッションを年度内に4回予定していますが、この度、OECCが第1回低炭素技術ミッションへの企業参加の募集を開始しましたのでご案内いたします。

詳細は実施機関の OECC のホームページをご参照ください（技術ミッションの行程等は随時 OECC のホームページに追記・更新される予定です）。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

◆実施期間：平成 27 年 7 月 13 日（月）～平成 27 年 7 月 15 日（水）

◆申込期限：平成 27 年 7 月 9 日（木）

申込み期限を過ぎてもご関心のある企業様のお話を伺いたく、是非、担当までお問い合わせください。

【ミッション参加の主なメリット】

・バンコク都でのワークショップ等への参加を通じて、バンコク側の各セクターのニーズに関する情報収集や、現地で事業を進めるうえでのパートナー探しといった案件発掘に向けた活動が可能です。また、案件によっては横浜市内の温暖化対策事業の実績とあわせて製品・技術等を紹介することで、効果的なプロモーションが可能です。

・ご希望に応じ、現地企業との個別の面談の設定など、より具体的なプロジェクト形成に向けた場の設定も予定しております。

・また、今後、バンコク都行政担当者や現地企業等を対象とした日本での視察ツアーも計画しており、今回のミッションで現地関係者にプロモーションすることで、実際に貴社の低炭素技術をみてもらうことも可能となると思います。ぜひ、今回のミッションにご参加ください。

↓詳細・応募はこちら（OECC ホームページ）

<http://www.oecc.or.jp/contents/yokohama/index.html>

<お問い合わせ>

横浜市国際局国際協力課

武藤・佐々井

TEL：045-671-4396

Email：ki-yport@city.yokohama.jp

■ □ ■ -----

7. ----- ■ □ ■

<横浜市より> ～ビジネスマッチングセミナー参加企業募集のお知らせ～

【急成長するインドネシア・バタム市で環境分野におけるビジネスチャンス発掘！
8/18-20】

近年、新興国が急成長に伴う都市課題を抱えていることを背景に、横浜市は、国際技術協力事業のもと公民連携による都市課題解決支援や海外インフラビジネスの推進に取り組んでいます。

インドネシア共和国バタム市は、シンガポールから約 20km 対岸に位置し、その恵まれた立地と急速な人口増加から、ますますの経済発展が見込まれています。本市はバタム市と平成 27 年 5 月に都市づくりに関する技術協力の覚書を交わしました。

このたび、環境省による JCM（二国間クレジット制度）の活用に向けて、ビジネスマッチングセミナーをバタム市で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

◆実施期間：平成 27 年 8 月 18 日（火）～平成 27 年 8 月 20 日（木）

↓詳細・お申込み方法はこちら

<http://www.iges.or.jp/jp/climate-energy/mm/20150527.html>

<お問い合わせ>

横浜市国際局国際協力課

中村・平石

TEL：045-671-4396

FAX：045-664-7145

E-mail：ki-yport@city.yokohama.jp

■ □ ■ -----

8. ----- ■ □ ■

<広報協力> ～財団法人中華経済研究院 東京事務所よりお知らせ～

【日台企業連携セミナー・商談会・交流会のお知らせ 7/21】

（財）中華経済研究院が事務局を務める亜東関係協会科学技術交流委員会は、台湾經濟部のご指導の下で、日本と台湾の企業が技術連携、ブランド連携、マーケティング連携の為に、2009 年より日台企業連携セミナーを日本各地で開催しています。

今回は神奈川県で開催し、セミナーでは日台企業連携の最新情報を提供し、商談会では台湾企業と交流する場を設けます。ぜひご参加頂きますようお願い申し上げます。

◆開催日時：平成 27 年 7 月 21 日（火）13:30～20:00

- ・セミナー 13:30～15:40（13:00 受付開始）
- ・商談会 16:00～18:00
- ・交流会 18:00～20:00

◆開催場所：横浜ベイホテル東急 B2F「アンバサダーズ」

※交流会は B2F「クイーンズグランドボールルーム」

（横浜市西区みなとみらい 2-3-7）

<http://ybht.co.jp/>

◆対象：神奈川県内の中小企業者

◆内容：講演テーマ

- ・日台ビジネスアライアンス
- ・グローバル化経済に於ける日本企業の方向性と日台戦略的連携
- ・台湾での EMS、ODM ビジネスと日台の連携

詳しくは URL をご参照ください。

◆定員：70 名

◆参加費：無料

◆締切り：平成 27 年 7 月 15 日（水）

◆主催：亜東関係協会科学技術交流委員会（指導機関：台湾經濟部技術処）

◆後援：神奈川県、横浜市経済局ほか

↓詳細・お申込みはこちら

<http://japan.tnst.org.tw/front/bin/ptdetail.phtml?Part=3-048&Rcg=47>

<お問い合わせ>

（財）中華経済研究院 東京事務所

TEL：03-5765-5821

FAX：03-5765-5833

■ □ ■ -----

9. ----- ■ □ ■

<広報協力> ~IDEC よりお知らせ~

【中国(上海)国際工業博覧会 横浜ブース出展のご案内！ 11/3~7】

横浜企業経営支援財団（IDEC）では 11 月に上海で開催される国家級の総合見本市「中国国際工業博覧会」ジャパン・パビリオン内に横浜ブースを設置します。

この横浜ブースに出展する企業を募集します。

同博覧会は中国最大級の工業見本市で、中国全土や海外からも環境関連企業や行政関係者が多数来場します。さらに、IDEC では横浜ブース出展者向け交流会や中国企業とのマッチング等も実施予定です。

ご興味のある方は、まずはお問い合わせください！

<2015 中国国際工業博覧会（第 17 回）横浜ブース概要>

◆会期：平成 27 年 11 月 3 日（火）～7 日（土）

◆会場：国家会展中心（上海市青浦区）

※2014 年秋に新しくオープンした会場です！

◆募集小間数：

・標準ブース 5 小間程度（1 小間あたり 3m×3m）

・共同出展ブース 5 小間程度（1 小間内を複数企業でシェアします。）

※期間中 1 日以上現地でのアテンドをお願い致します。

※両ブース共に先着順で締切り

◆出展料：ジャパンパビリオン標準ブース

・横浜市内企業 253,000 円/小間

※一般料金は、380,000 円です。

・共同出展ブース：横浜市内企業 20,000 円

◆対象：横浜市内に事業所を持つ中小企業

◆締切り：平成 27 年 7 月 27 日（月）（先着順にて締め切ります）

◆出展展示会：「工業環境保護技術・設備展」「CNC 工作機械&金属加工展」

「工業自動化展」など 8 つの専門展から成る中国国際工業博覧会のうち、

「工業環境保護技術・設備展」に横浜ブースを設置予定。

◆横浜ブース出展のメリット：

・IDEC 上海事務所サポート

・上海対外科学技術交流センターとのマッチング

・出展企業が自社 PR を行う事ができるセミナーの開催

↓詳細・お申込みはこちら

http://www.idec.or.jp/kaigai/whats_new/20150622112814.php

<お問い合わせ>

(公財) 横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

佐々木

TEL : 045-225-3730

FAX : 045-225-3737

Email : global@idec.or.jp

